

おのころファミリーの代表的な楽曲 一覧

- 1 明日にしよう さよならは
- 2 あなたの加速度にや ついて行けない
- 3 故郷(あなた)へ
- 4 雨の音ポツポツタン屋根パラパラ
- 5 淡恋歌
- 6 歩き疲れて
- 7 愛しき者よ僕の中から あなたの名前が消えることはない
- 8 いろいろあって 1987
- 9 ウェディング・ワルツ Wedding Waltz
- 10 歌いたいから ここに来た
- 11 歌い出す時
- 12 思い出の小箱
- 13 回想
- 14 風の町
- 15 君がこの町に来る
- 16 霧のような出あい
- 17 今日は空気が うまいから
- 18 けい子ちゃん
- 19 5月29日
- 20 子供の気持ちでいたいから
- 21 寂しい時に歌う唄
- 22 幸せの風の吹く夜は
- 23 白い犬
- 24 捨てゼリフ
- 25 聖ウェディングデイ
- 26 描写(デッサン)
- 27 トントン山の芝右衛門
- 28 眠れない
- 29 昼行灯
- 30 ふるさと東浦
- 31 ふるさとへ
- 32 ブルーサマー Blue Summer
- 33 僕はカエルだ
- 34 My land is island(舞ランド is 愛ランド)
- 35 真夜中の懐旧談
- 36 ミルキーウェイ Milky Way
- 37 もぐらタンポポ・タンポポ ぱくり
- 38 モーニングレイン
- 39 夜だよ
- 40 ランドセルのさっちゃん
- 41 6月の朝 雨上がり
- 42 別れ
- 43 one day after only yesterday

1 明日にしよう さよならは

作詞:不詳

作曲:独海航

空と海との境をじっと

君は見つめて 動かない

とぎれとぎれの 砂文字を

僕は何度も描いてる

どこへ 埋めてしまったのだろ

恋の始めの あの煌めきを

明日にしよう さよならは

気付かぬふりして すごすのさ

心変わりを たった一言 きく勇気さえ ない僕さ

赤いサンダルはきすてられて

風にさらされ ないている

白い貝殻 拾い上げ

指で優しく 泥をふく

だれを だれを この先 愛してみても

だめさ 君ほど愛せやしない

明日にしよう さよならは

気付かぬふりして すごすのさ

波が小さく震えはじめる 季節が秋へと向かう今

どこへ 埋めてしまったのだろ

恋の始めの あの煌めきを

明日にしよう さよならは

気付かぬふりして すごすのさ

心変わりを たった一言 きく勇気さえ ない僕さ

2 あなたの加速度にや ついて行けない

作詞：森晃久

作曲：森晃久

たとえたとえ ふさぎこんでる時でも
あなたは 熱い 心が消えない人だ
どんな時でも 前にしか行かない
例え1センチずつでも 前に行く

あなたの加速度にや ついて行けない
可愛いままで 大人にならないで

あなたが行く道を僕は先に見ることはない
いつの日からか あなたの後ろ姿ばかり見てる
後ろ姿も遠くになってしまう
ついて行かないんじゃないかって ついて行けない

あなたの加速度にや ついて行けない
可愛いままで 大人にならないで

十字路があって 三叉路があって
交差点を抜け 高速道路を走って 山道を走る

あなたの加速度にや ついて行けない
可愛いままで 大人にならないで

3 故郷(あなた)へ

作詞：南斗翔

作曲：森晃久

あなたの腕を離れて
ひとり街の中 歩き出したのは
そうね きっと かつこよかったの
世間知らずのお嬢さん 始めて涙を流した日
電話の向こうの あなたの声は あの頃の風景
電車の音さえ 潮騒に変わって
あなたへと続く そう 帰る場所はあなた
あなたしかない
いつものもの目をして待っていて
両手を広げて

はきなれないハイヒール
濡れたアスファルトに映るネオン
みんな 嘘つき 聞こえてしまう
強がり過ぎてる私には
ルージュの色さえ分らない
あなたにもたれて泣きたい夜は
ひとり膝をかかえた
飾らない日々へ もう一度帰ろう
あなたへと帰る そう 帰る場所はあなた
あなたしかない
駆け出す私を受け止めて
両手を広げて

4 雨の音ポツポツトタン屋根パラパラ

作詞：森晃久

作曲：森晃久

夕べから 降り続く雨のせいね
夢のようなことばかり考えている
夢でもいいから 逢いたくて
夢の中探している あなたのこと

雨の音ポツポツトタン屋根パラパラ
私の大好きな あの人が 階段をかけて来る

静かに優しく 降り続く雨
曇りガラスに並べて書いた 二人の名前
もうすぐ あなたは雨の中を
急ぎ足 私に会いに来るはず

雨の音ポツポツトタン屋根パラパラ
私の大好きな あの人が この部屋の戸をたたくの
私の大好きな あの人が この部屋の戸をたたくわ

5 淡恋賦

作詞：近野賀之

作曲：森 晃久

淡き光の たちこめて
優しき東風の吹く浦に
恋のさざなみ よする浜
愛しき人のひとりいて

しよせん はかなき 恋ゆえに
群れをはなれた鷗鳥
浜陽炎の揺れる中
寄り添う千鳥の恨めしき

海を渡りて 吹く風の
潮のかをりに 消えた恋
夢路は遥か 大海の
山の白波 散るしぶき

6 歩き疲れて

作詞:近野賀之

作曲:森晃久

歩き疲れて 今日もひとり
今年も秋は むなしく暮れるよ
カサカサ枯れ葉の散る日には
カサカサ秋がしみとおる

明日はどこの 町をひとり
風に追われて 旅はつづくよ

あの日歌った あの日の唄は
あの日の夢を 運んでくるよ
シトシト 冷たい雨の日は
シトシト 秋がしみとおる

明日はどこの 町をひとり
風に追われて 旅はつづくよ

7 いとしきものよ

僕の中から あなたの名前がきえることはない

作詩：森晃久

作曲：森晃久

間違いを探し出すよりは
初めから 忘れてしまう方がいい
何百と飛び交う言葉よりは
たった一行の 文字をあげたい

立ち上がれ 夜明け前
何があっても 負けない強さを知っている
生きる勇気とは 時には
情けなく 情けなく見えてしまう
愛しきものよ 僕の中から
あなたの名前が 消えることはない

辿り着く場所を探しているんじゃない
一歩ふみ出す ことを考えている
作り笑いはしないで来たはず
いつもあなたは そうしてきたはず

遠くから見てるとわからないよ
どんな事にも 壊れない強さを知っている
生きる力とは 時には
情けなく 情けなく見えてしまう
愛しきものよ 僕の中から
あなたの名前が 消えることはない

8 いろいろあって1987

作詩: 森晃久

作曲: 森晃久

いろいろあって1987

君の心に近づけた September

こんな小さな町にも 泣いたり笑ったりの October

缶コーヒーのパーティー 君の周りのストーリー

僕の周りの Distance

いろいろあって1987

また唄を作り始めた November

300日を振り返る 秋も終る December

第九帰りの B・J 君の周りのストーリー 僕の周りの Distance

悲しい唄は 確かにあるけど

悲しい唄は 歌わない

PP&Mもポールマッカートニーも

いいけど時にはベートーベンもいいね

Freude, schöner Gotterfunken,

Tochter aus Elysium,

Wir betreten feuertrunken.

Himmliche, dein Heiligtum!

Deine Zauber binden wieder,

Was die Mode streng geteilt,

Alle Menschen werden Bruder,

Wo dein sanfter Flugel weilt.

300日を振り返る 秋も終る December

第九帰りの B・J 君の周りのストーリー 僕の周りの Distance

いろいろあって1987

いろいろあって1987

Freude, schöner Gotterfunken Gotterfunken

9 ウェディング ワルツ

作詞:近野賀之

作曲:近野賀之

幼い頃から夢みていた
白い飾りのドレス着て
小さな花束 胸に抱えて
愛する人に 嫁ぐ日を
風は爽やかな wedding waltz
変わらぬ愛に
感激の口笛をふいてくれるよ

愛する人を決めた日から
今日の この日を待っていました
みんなの笑顔にかこまれて
あなたの愛につつまれて
風は爽やかな wedding waltz
変わらぬ愛に
感激の口笛をふいてくれるよ

10 歌いたいから ここに来た

作詩：森晃久

作曲：森晃久

お前が生まれる ずっと前から
とうさんは 歌い続けていたよ
あの頃 歌ってた ラブソング
母さんは その主人公

ひと昔 ふた昔が夢のように すぎていく
いくつになっても とうさんは
歌うことが好きだから
歌いたいから ここに来た

お前が大人になった未来も
とうさんは歌い続けているよ
時代は変わり お前が歌う ラブソング
聞こえてくるよ そんな気がする

ひと昔 ふた昔が夢のように すぎていく
いくつになっても みんな みんな
歌うことが好きだから
歌いたいから ここに来た

11 歌い出すとき

作曲：森晃久

作詩：森晃久

止めないでその生き方 迷わないで あなたを信じてる
旅支度の時には
学生時代に歌った唄をつれて行ってください
一緒に
疲れた時には振り向いて 私は そこにいるはず
歌い出せば 何か始まる
歌い出す時 何か始まる

12 思い出の小箱

作曲：森晃久

作詩：森晃久

僕はいつも 思いでの
小箱を抱えて暮らしています
小箱を開ければ
虹色の思い出が出てくる 笑い声と一緒に

いつの日にも男と女は
友達になれないと知ってるから
僕は 君のことを 友達と呼び続けるだろう
僕は 君のことを 友達と呼び続けるだろう

一雨ごとに 暖かくなる
山の色が変わり 海の色が変わる
季節が過ぎれば またひとつ
あの頃 あの日が 遠くなる

僕の友達 愛する人 女友達
君は今でも その一人であるというしるしに
僕はいつまでも この小箱を大切にしていきたい
僕はいつまでも この小箱を大切にしていきたい

13 回想

作詩：森晃久

作曲：森晃久

時の流れに 揺り動かされてきた
あなたと私の 人生の ひとこまに
かすかな 明かりを灯す
メロディを くちずさむ
忘れてしまった 幼い日の力を
輝くような 人生のひとこまを
呼び戻すことが できるような
気がしてならない

力をこめた 握りこぶしに
人には言えない 僕の生き方を
隠してある

人は今まで 些細なできごとにも
きれいな言葉を 使いすぎたために
この燃えるような思いを伝えても
つまらない言葉になる

時の流れに 揺り動かされてきた
あなたと私の 人生の ひとこまに
かすかな 明かりを灯す
メロディを くちずさむ

力をこめた 握りこぶしに
人には言えない 僕の生き方を
隠してある

14 風の町

作詩：森晃久

作曲：森晃久

風が通り抜けたとき あなたの横顔が輝いた
ほんの一秒の瞬間なのに
あなたの優しさが すべて見えたよ
あの坂道を登ると 風が棲んでる草原に出る
大地にささやき 草花に語る
あなたの 思いをすべて伝えて
あぁ あなたがいる風景
あぁ あなたを包む風の景色
だれかが ここを風の町とよぶ
だれかが ここを風の町とよんだ

風が通り抜けたとき あなたの耳元が輝いた
遠くを見てる 瞳に似合う
貝殻のイヤリング 小さくゆれた
波打ち際の陽の光が 長い髪からのぞいている
海岸のメロディ 潮風のハーモニー
潮の香りがこの町に重なる
あぁ あなたがいる風景
あぁ あなたを包む風の景色
だれかが ここを風の町とよぶ
だれかが ここを風の町とよんだ

15 君がこの町に来る

作詩：森晃久

作曲：森晃久

君の名字は 変わるけれども
生活そのもんは 変わりたくは おまへんな
ただ 玄関に 僕のドタ靴と 君のツツカケが
並ぶちゅうのは ええもんや

君が この町に来る 君が この町に来る
もし よかったら 死ぬまで
僕んどこへ 泊まっていきたなはれ

泣いたり笑ったりを繰り返したけど
生き方そのもんは 変えたくは おまへんな
ああ 大切な唄 それは僕の生き方や
泣いたり笑ったりを まだまだ これから繰り返す
君が この町に来る 君が この町に来る
もし よかったら このままずっと
僕んどこへ 泊まっていきなはれ

けっしてゴールインと呼ばんでほしい
これから始まる スタートラインやおまへんか
映画のタイトルは 決まってないけど
男と女の物語 入場料はいりません
君が この町に来る 君が この町に来る
もし よかったら 死ぬまで
僕んどこへ 泊まっていきなはれ
僕んどこへ 泊まっていきなはれ

16 霧のような出逢い

作詩：森晃久

作曲：森晃久

僕と君がであった日は よく覚えていない
そして 今でも君の心を
すべて読み取ることはできない

二人の人生を 振り返ってみると
泣いてみたり 笑ったりの 繰り返しだけど

ただ一つ 確かなものは
僕と君が 知らぬ間に この道を歩いてきたということ

いつの間にか 君は僕の 心の中にすんでいた
小川のほとりで 出会ったような
かすかな 淡い 霧のように

時の流れるまま 過ぎてきた毎日
泣いてみたり 笑ったりの 繰り返しだけど

何よりも 確かなものは
僕と君が 知らぬ間に この道を歩いているということ

17 今日は空気がうまいから

作詩:佐藤祐司

作曲:佐藤祐司

今日は空気がうまいから
狭い家を出てみよう
橋の上から小石を投げた
胸の隙間よ もうさようなら
 夕べまでの過ぎたことは
 煩わしいから忘れてしまい
 知らない明日よ 遠い日よ

今日は空気がうまいから
狭い家を出てみよう
二つの足跡 この町に残し
昨日までいた もうさようなら
 明日からいきていくことが
 僕には生れてはじめてのこと
 知らない明日よ 遠い日よ

18 けい子ちゃん

作詩：森晃久

作曲：森晃久

高槻行き朝の鈍行電車
僕はいつも君が乗るのを待ってる
3番ホームの3両め
けい子ちゃん 大好きさ

英語の授業中でもI LOVE KEIKOchan
セーラー服の胸のふくらみ想像してたら
よだれが出てきて机に落ちた
けい子ちゃん 大好きさ

学校終わってその帰り道
僕はいつも君の後ろをついてく
可愛いおしりがプリプリリン
けい子ちゃん 大好きさ

夜の寝床で枕を抱えて
僕はいつも君の夢を見てるよ
銀色の野原を二人で駆ける夢を
けい子ちゃん 大好きさ

19 5月29日

作詞: 森晃久

作曲: 森晃久

何千日が過ぎて行き 何万日が始まる
大切な今日の日は あなたからのプレゼント
ありがとう あなたの言葉
ありがとう あなたの唄
いつまでも残しておきたい 思い出の小箱に

何千日を振り返り 何万日を歩きだす
大切な今日の日は 私達へのプレゼント
忘れない あなたの言葉
忘れない あなたの唄
いつまでも残しておきたい 思い出の小箱に
5月29日と 日付を書いて

ありがとう あなたの言葉
ありがとう あなたの唄
幸せのオルゴールが鳴る 思い出の小箱に
5月29日と 日付を書いて

20 子供の気持ちでいたいから

作詞: 森晃久

作曲: 森晃久

何よりも大切なもの おとなたちには分からない
ポケットに隠してある 子供たちの宝物
涙でぬれている 土で汚れている
ちっぽけなやさしさが あなたに分かるかい

月は満ち 欠けても 季節がめぐっても
いつまでも 子供の気持ちでいたいから

光る雲 渡る風 流れるままにまかせたら
忘れかけた昔の歌も また一つ新しい
まだ白いアルバム 扉を開くとき

ささやかな幸せの世界がうつるだろう

月は満ち 欠けても 季節がめぐっても
いつまでも 子供の気持ちでいたいから

21 寂しい時に歌う唄

作詞：森晃久

作曲：森晃久

名も知らない町を 一人歩けば
自分がひとりぼっちになったのに気づく
昔がなつかしい わけではないさ
昔がなつかしい わけではないさ
ただほんの少し 思い出す
さみしい時に歌うよ
さみしい時の 僕だけの唄

この小さな町を 通りぬければ
いきてる朝の光にきづく
幸せがほしい わけではないさ
幸せがほしい わけではないさ
ただほんの少し 思い出す
さみしい時に歌うよ
さみしい時の 僕だけの唄

昨日までの愛も 消えてしまうのでしょう
いつの日か あなたも おとなになって
昔をなつかしく 思い出すことあるさ
昔をなつかしく 思い出すことあるさ
もうかえらない あなたに
独り今日も歌うよ
さみしい時の 僕だけの唄

22 幸せの風の吹く夜は

作詞：南斗翔

作曲：森晃久

こんな静かな 幸せの 風の吹く夜は
できるだけ 夜ふかしをしてして
あなたのことを ひとり夢見る
あなたの肩にもたれるように
枕にそっと顔を寄せると
急になぜだか 涙がこぼれて

こんな静かな 幸せの 風の吹く夜は
ひとり芝居の 夢も悲しくないはずなのに

こんな素敵な 幸せの 風の吹く夜は
できるだけ 夜ふかしをしてして
あなたのことを ひとりかたる
あなたとおしゃべりしているように
あやつり人形にかたりかけると
急になぜだか 言葉がとぎれて

こんな素敵な 幸せの 風の吹く夜は
ひとり芝居の 夢も悲しくないはずなのに

23 白い犬

作詞：南斗翔

作曲：独海航

遠い昔 子犬を拾ったことがあった
白いチビ
いっしょうけんめい 育てていたよ
いっしょうけんめい
ある日突然 白いきれいな人が 本当の飼い主
ごめんなさいと 頭を撫でて
私の心ごと 心ごと 抱いていった

唇で涙をとめた 心の中で手を振った
まるで あの時みたい 今あなたを見送る私

遠い昔 思い出話にしましょうか 白いあなた
もう一度はきりがいいから
もう一度は
甘いミルクも 私の匂いも 古い毛布も
ごめんなさいと 背中の方こうで
白い子犬は 子犬はわすれたでしょう

唇で涙をとめた 心の中で手を振った
まるで あの時みたい 今あなたを見送る私

24 捨てゼリフ

作詞：南斗翔

作曲：南斗翔

赤いルージュをひいて 嘘をついてみせるわね
鏡ごしに あなたへ おちゃめに笑って
私が 泣くと思ったの ポロポロとサメザメと
お生憎様でしたと 舌を出してみる
最後に 心のボタンは あなたが止め直してよ
開けっ放しで彼女に見られたら 私が気の毒

思い余って 泣けたのは 細い靴が痛かったから
だけど背筋を伸ばして 部屋を出ていくわ
可愛くないオンナでしょ さんざんわかっているのよ
だけど愛した人を 困らせたくない
昨日の夜のグラスは ひとつだけ洗っとく
ふたつ並んで彼女に見られたら 彼女に悪いでしょ

25 セント ウェディング デイ

作詞：BGB

作曲：BGB

夜空の星をいくつか結んだら
いつか あなたに たどりついたの
あなたのそばに 寄り添うことは
生まれた時から 決まっていたのね
そうよ
おとぎ話のシンデレラ
心の片方 ガラスの靴は
あなたが あなたが 履かせてくれた
魔法は解けない 時がきても
愛はカボチャになりはしない

ding-dong ding-dong
今日はふたりの
ding-dong ding-dong
神様がくれた
St.Wedding day

魔法は解けない 時間がきても
愛はカボチャになりはしない
ding-dong ding-dong
こころ いっぱいに
ding-dong ding-dong
おめでとう
聖ウェディングデイ

26 描写 デッサン

作詞：南斗翔

作曲：独海航

目を閉じて 一枚の写真のように
あなたの仕草を思い出す
優しく細い指 遠く優しいひとみ
何もかもが光 総てが風

眩しすぎて見えないけれど
遠すぎて 近づけないけれど
　　白い画用紙の中 私が描く
　　あなたは 私だけの あなた

言葉では あまりにもどかしく
文字では あなたは分らない
もっと優しい色 もっと柔らかい線
叶うはずもない夢 私ひとり

眩しすぎる 光おいかけて
遠すぎる 風おいかけて
　　白い画用紙の中 私が描く
　　あなたは 私だけの あなた

27 トントン山の芝右衛門

作詞: なかよし おのころ たこ焼きバンド

作曲: 近野賀之

トントン山から芝右衛門が
徳利下げて「都美人」を買いに
そしたら向こうから パーマをあてた娘さん
「どこであてた？」と尋ねたら
「サロン・ド・北条！」

28 眠れない

作詞：森晃久

作曲：森晃久

眠れない 眠れない まったく眠れない
眠れない 眠れない こんな時は
どうして 眠れないのかと 一生懸命
考えたりするから よけいに眠れない
上を向いては 眠れない
下をむいても 眠れない
横を向いても また 眠れない

眠れない 眠れない どうにも眠れない
眠れない 眠れない こんな時は
眠れない時の唄を作ろうと 一生懸命
考えたりするから よけいに眠れない
上を向いては 眠れない
下をむいても 眠れない
斜めを向いても やっぱり 眠れない

子守歌では 眠れない
ヒツジを数えても 眠れない
眠れないから 眠れない
逆立ちしたって 眠れない
夢は見るのに 眠れない
眠れないから 眠れない
グリナを飲んでも 眠れない
オシッコしたくて 眠れない
ちょっとだけねたのに またおきた

29 昼行燈

作詞：佐藤祐司

作曲：佐藤祐司

巫山戯る君の仕草に
凭れる様に 頼杖の僕
何時しか過ぎる町並
理屈の中に踏みつける度
 或る一日の出来事が
 昼行灯に照らされて
 煌めく瞼に紛れて消えて
 巫山戯る時の過ぎた温もり

巫山戯る君の仕草に
唯見様見真似 病み耄けては
蔑する胸は空虚に
負け色差して情けない程
 或る一日の出来事が
 昼行灯に照らされて
 逃げ出す哀れに怨みも消えて
 巫山戯る時の過ぎた温もり

30 ふるさと東浦

作詞: なかよし おのころ たこ焼きバンド

作曲: なかよし おのころ たこ焼きバンド

茅渟海から昇る太陽 町を山を照らす
ほのかに熱い息吹が 胸の中にきこえる
私達がふるさとと呼べるただひとつの町
ひがしうら 東浦の 夜は明け行く

この町の人々の優しさや 海と山の幸を
今の子どもたちに 残すため大切にしたい
私達がふるさとと呼べるただひとつの町
ひがしうら 東浦の 夜は青空

暮れ方に帰る カモメたち 港のフェリーボート
休まない鼓動は 明日への 限りないちから
私達がふるさとと呼べるただひとつの町
ひがしうら 東浦の 空は夕焼け

31 故郷へ(ふるさとへ)

作詞: 森晃久

作曲: 森晃久

こんなさみしい街に
降りてきたのは
ふと 悲劇の主人公に
なりたいたい 思ったりしたから
夜汽車の赤いランプを
さみしく見送って
私は独りだと つぶやき
駅の階段を降りる
なんのことはない
すぐにまた 人恋しくなり
故郷へ向かう
夜汽車に目をやる

こんなことを今まで
何度もり返し
人生は ばかげたゲームだと
だれかが背中で笑う
私には まだ 人生は 語れないけど
自分の行く場所がすこしずつ
見えてきたような気がする
なんのことはない
古里へ あの ふるさと へ
故郷へ向かう
夜汽車に乗り込む

32 ブルーサマー

作詞:近野賀之

作曲:森 晃久

熱い憂いを アイ스티ーに浮かべて
冷たくほろ苦い つかの間の安らぎ
ブルーサマー 煌めきの昼下がり
ひとかけらの氷 グラスで揺れる

一筋の風が カーテンでゆれて
あなたの影が 消えかけた白い部屋
ブルーサマー まぶしい 昼下がり
グラスの頬に ひとつ 冷たいしずく

忘れかけた面影を タバコと一緒に
灰皿につぶして 溜息でうずめる
ブルーサマー 煌めきの 昼下がり
溶けかけの氷 グラスで光る

ブルーサマー 煌めきの昼下がり
ひとかけらの氷 グラスで揺れる

ブルーサマー まぶしい昼下がり
グラスの頬に ひとつ 冷たいしずく

33 僕はカエルだ

作曲：森晃久

作詞：森晃久

雨はとっくにやんだのに 空はいつまでも灰色で
夕方のように薄暗く みんな湿っぽい顔をしてる
だれだろう

雨が降ると 天気が悪いといったのは
カエルにすればいい天気なはずだ
雨ふれ 雨ふれって鳴いている

僕はカエルだ
あわただしい日々が続き
機械になってしまいそうな時
少しばかりでも雨が降ると
時がゆっくり過ぎていくようで
心がとっても落ち着く感じがする

雨が嫌いな機械人間さん 湿っぽい顔をするのも
あくせくするものやめて そばにあるベンチに腰掛けて
たばこなんかふかせながら
灰色の空をみたらどうです
雨ふれ 雨ふれカエルの声も
悲しいくらいきれいな唄です

僕はカエルだ
あわただしい日々が続き
機械になってしまいそうな時
少しばかりでも雨が降ると
時がゆっくり過ぎていくようで
心がとっても落ち着く感じがする

34 舞ランド is 愛ランド

作詞：森晃久

作曲：森晃久

あの角を曲がったところに 新しい 出会いがあるかもしれない
花畑で踊る風のように 笑ってごらん それだけでいい
舞 舞 舞 舞い上がる 花が舞う 舞ランド

My land is island 花の故郷(まち)
flowers are growing for the sun
舞 land is island 夢が咲く
flowers are growing for the sun

君がいて 振り向いたときに新しい 恋物語が始まる
丘の上で 遊ぶ風のように 歌ってごらん それだけでいい
舞 舞 舞 舞い上がる 花が舞う 舞ランド

My land is island 花の故郷(まち)
flowers are growing for the sun
舞 land is island 夢が咲く
flowers are growing for the sun

雨上がり かかる虹を超え聞こえるよ 子供たちの歌声
息づく朝 はやる思い 空を 大空を 翔んで行きたい
舞 舞 舞 舞い上がる 舞いあがれ 舞ランド

My land is island 花の故郷(まち)
flowers are growing for the sun
舞land is island 夢が咲く
flowers are growing for the sun

35 真夜中の懐旧談

作詞：森晃久

作曲：森晃久

僕には「さらば青春」と歌える勇氣は無い
もう少し昔をひきずって生きてゆきたい
ほんの少し 気恥ずかしさを感じながら
遠く過ぎ去るものを呼びかける

胸にしまいこんでだ感激の瞬間
それを話せる人が
一人 二人 三人ぐらい いればいい
真夜中の懐旧談
君はそのひとり 僕は10年前の自分を見てる

これからもカタツムリのはやさでいこう
たどり着いた場所はいつもスタートラインだ

過ぎてきた日と同じ数だけの後悔を
すべて見せてしまえる人が
一人 二人 三人ぐらい いればいい
夜明け前の懐旧談
君もそのひとり 僕は10年前の自分を見てる

36 ミルキーウェイ

作詞:FUSAKO

作曲:広岡真亜

Milky way 流しておくれ 寂しい毎日を
あの人に逢えない 孤独な日々を
Milky way 助けておくれ
ともすれば 崩れてしまいそうになる 私を
あの子の笑顔が見たい 唄を歌うあの子の姿が見たい
だから お願い Milky way
あの人に 逢わせて 唄が大好きなあの人に

Milky way 泣かないで 私達の愛のために
涙が嫌いな あの子のために
Milky way 笑っておくれ
素敵なお顔 大好きなあの子のために
あの子の胸にとびこみたい あの子の心に流れ込みたい
だから お願い Milky way
私をはこんで 優しい あの子のもとへ

Milky way しあわせ おくれ 寂しい心に
ふたりがしあわせになれるように
Milky way 笑っておくれ
楽しい思い出を 私達だけの世界を
あの子の話す声がききたい あの子の希望に満ちた唄がききたい
だから お願い Milky way
あの人に 逢わせて 私の だいじなあの人に

37 もぐらたんぽぽ たんぽぽぱくり

作詞：森晃久

作曲：森晃久

そのもぐらは生まれつきどんくさくって
ドジで マヌケで アンポンタンで
それだから もう みんなから
ドジの もぐ太郎と呼ばれてたそうなの

もぐ太郎は ミミズや イモムシが
大の好物 だったけど
もぐ太郎より ミミズや イモムの方が
あなを掘るのが はやかったそうなの

あんまり腹のへった もぐ太郎は
地上に出て
ちょうど季節は 春だったもんだから
そばにあったたんぽぽを食べたそうなの
もぐら たんぽぽ たんぽぽ パクリ
もぐら たんぽぽ たんぽぽ パクリ

38 モーニングレイン

作詞：森晃久

作曲：森晃久

ふり続く雨 窓に雫
町をつつむ 灰色のベール
ハイライトの煙 インスタントコーヒー
めぐる思いを 部屋に広げて
 モーニングレイン 静かに歌って
 モーニングレイン 心を洗い流してよ
誰もが どこかに 置き忘れた
子どもの気持ちを教えてよ
静かにモーニングレイン

今よりずっと 若かったあの頃
涙と笑いを 積み重ねてきた
思いをたどり 振り返ってみる
古いアルバム 逆回りの時間
 モーニングレイン 優しく歌って
 モーニングレイン このまま時間を止めてよ
誰もが どこかに 置き忘れた
子どもの気持ちを教えてよ
やさしくモーニングレイン
 Morning rain 静かに歌って
 Morning rain 心を洗い流してよ
誰もが どこかに 置き忘れた
子どもの気持ちを教えてよ
静かに Morning rain

39 夜だよ

作詞：森晃久

作曲：森晃久

遠慮がちにやって来た夜は
得意げに 星たちを散りばめた

君の柔らかな 胸元に似た
あたたかな 優しさと一緒に
部屋の中まで 寂しくなるほど
静かな空気を 送り込んで

僕の靴と君のサンダルが
仲良く並ぶ夜だよ
夜だよ

40 ランドセルの さっちゃん

作詞：森晃久

作曲：森晃久

ランドセルの さっちゃんが笑った
とても愉快な一日が始まる春の日
朝の光が 大空を横切り
この町に「おはよう」のさわやか風が吹く

君のかあさんが 君がでかける姿を
写真におさめた カメラに撮った
そして来年も 再来年も その次の年も その次も
桜の花が咲くたびに
君のかあさんは その写真を見るんだ

ランドセルは さっちゃんより大きくて
後ろから見と ランドセルから足が生えてるみたい
ランドセルの さっちゃんは振り返り
輝く笑顔を もう一つ かあさんにプレゼント

君のかあさんが 君がでかける姿を
写真におさめた カメラに撮った
そして来年も 再来年も その次の年も その次も
桜の花が咲くたびに
君のかあさんは その写真を見るんだ

41 6月の朝 雨上がり

作詞：森晃久

作曲：森晃久

6月の朝雨上がり 寝ころんだまま
6月の朝雨上がり 窓を開けてみると
隣の家の 屋根の上で スズメのおしゃべり

6月の朝雨上がり 野原はみどり
6月の朝雨上がり 透き通る風
水たまりで遊んでるのは ちっちゃなアメンボウ

6月の朝雨上がり 紫陽花の花
6月の朝雨上がり 花びらのしずく
カタツムリの歩いたあとは 虹色の 足あと

42 別れ

作詞:南斗 翔

作曲:森 晃久

いつもの紅茶でいいですね
レモンはちょっぴり厚めに切るわ
二人で暮らした 一年半の
愛の月日が もうすぐ終わる
 せめて 優しい花など飾り
 恋の絵本の 最後のページ
 ふたり静かに読み終えましょう

いつものしぐさで見送って
いつものしぐさで扉を締める
そうして私は荷物をまとめ
送る人なくこの部屋出るの
 すみれ模様の揃いのカップ
 夫婦気分で過ごした日々の
 愛の形見に もらっていくわ

あなたが半分 残してた
紅茶を飲んだら 涙が出たわ
カップにあなたの ほのかな温み
だけどさよなら 迷わず行くわ
 きっと今夜は お酒に酔って
 帰るあなたを 迎えるように
 ひとつ明かりを 灯しておくわ

43 ワンデイ アフター オンリー イエスタデイ

作詞: 近野賀之

作曲: 森 晃久

今日までの日々は 明日への昔
新しい 出会いを 探しに行きます
人生という言葉は 私には語れない
明日から生きていくことが私の人生
one day after only yesterday
明日から いい日だよ

過ぎ去った時間は もしかしたら夢
気持ちだけは いつまでも この場所にいたいけど
見ていてください 私の行く場所を
幸せだけを求めて 歩きはしないから
one day after only yesterday
明日から いい日だよ

弱い女だといわれたくなかった
一人で歩けると 勇気を出しただけ
さよなら という言葉は 私には似合わない
そこに出会いがあり 旅たちがあるだけ
one day after only yesterday
明日から いい日だよ

おのころファミリー ONOKORO FAMILY

音楽好きが集まったサークルです。主にアコースティックな音楽を演奏し唄を歌っています。

オリジナルの楽曲を数多く制作しています。

アイロムブック IROMBOOK

主に、[おのころファミリーの楽曲](#)を配信しています。



[YouTube での楽曲配信](#)